

DuMA ニュースレター

2025年7月21日

トカラ列島群発地震活動の現状

6月21日以降、鹿児島県トカラ列島周辺で激しい群発地震活動が続いています。トカラ列島周辺では2021年以降、群発地震活動が頻発するようになりました。

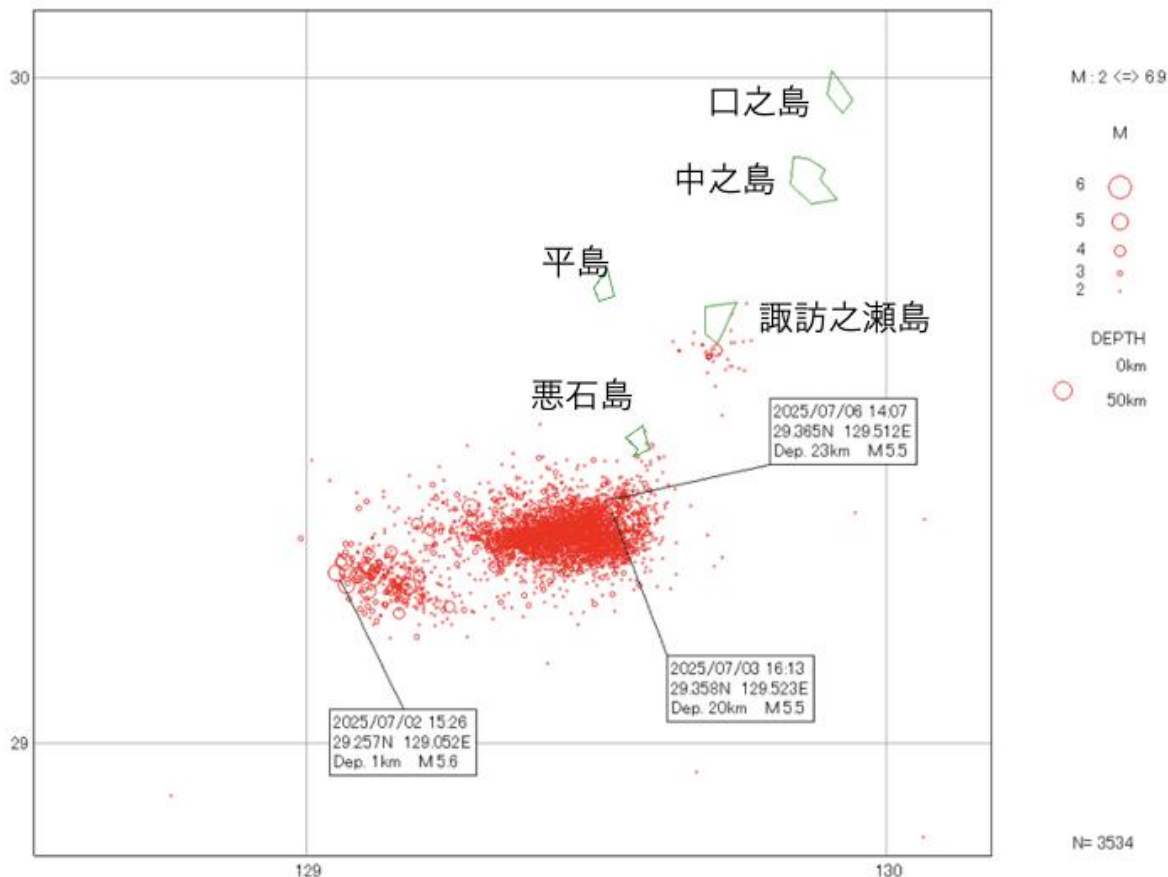
今回の群発地震活動は、これまでのものとは比較できないほど、長期間続いています。

年 月	継続期間	総地震回数(概数)	最大地震	備 考
2021 年 4 月	約 1 週間 (4/9~4/14)	約 200 回以上 (M1 以上)	M5.4	住民避難なし。震度 4 観測
2021 年 12 月	約 10 日間 (12/4~12/14)	600 回以上	M4.8	宝島付近。無感地震多し。報道多数
2022 年 3 月	約 1 週間	数百回	M4.7	平島周辺。気象庁が評価情報を発表
2023 年 11 月	約 10 日間	約 300 回以上	M5.0	十島村付近。津波注意報なし
2025 年 7 月 (今回)	継続中	2,500 回以上	M5 後半	現在進行中、今回の活動は桁違い！

今後の推移はまだ推測でしかありませんが、ようやく地震発生数が落ち着いてきたとも言える状況になってきました。

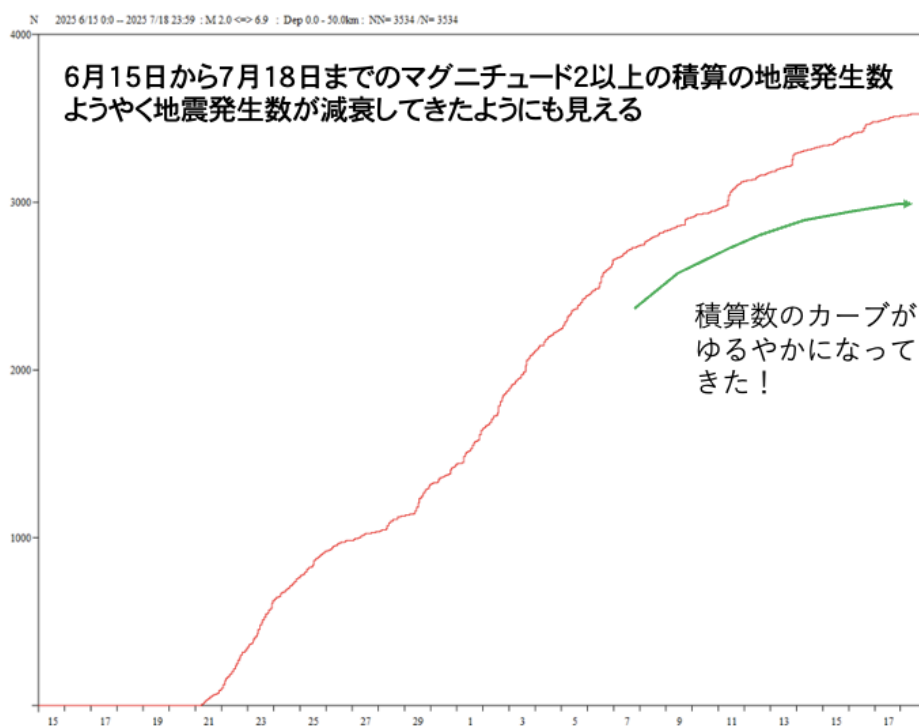
次にお示しする図は今回の群発地震活動の震央です。図中にはマグニチュード2以上の3,534個の地震がプロットされています。赤い点が地震の震央(発生した場所)を示しています。

2025年7月18日まで





次にお示しする図は前ページにお示した地震の積算発生数です。ようやく積算数の増え方がゆるやかになってきたことがわかります。これで活動が収束してくれればと思います。

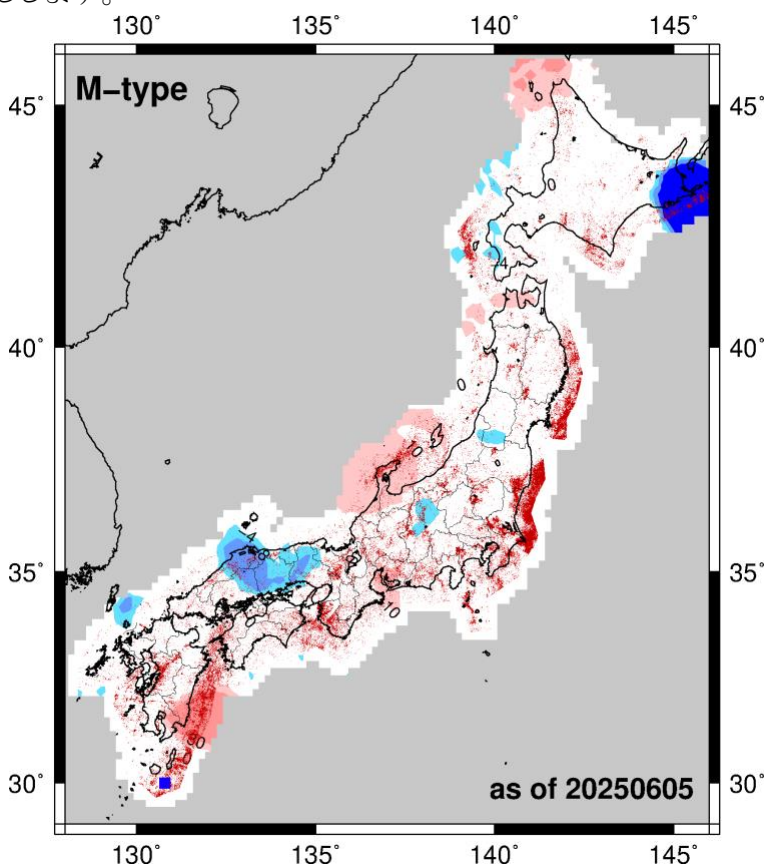


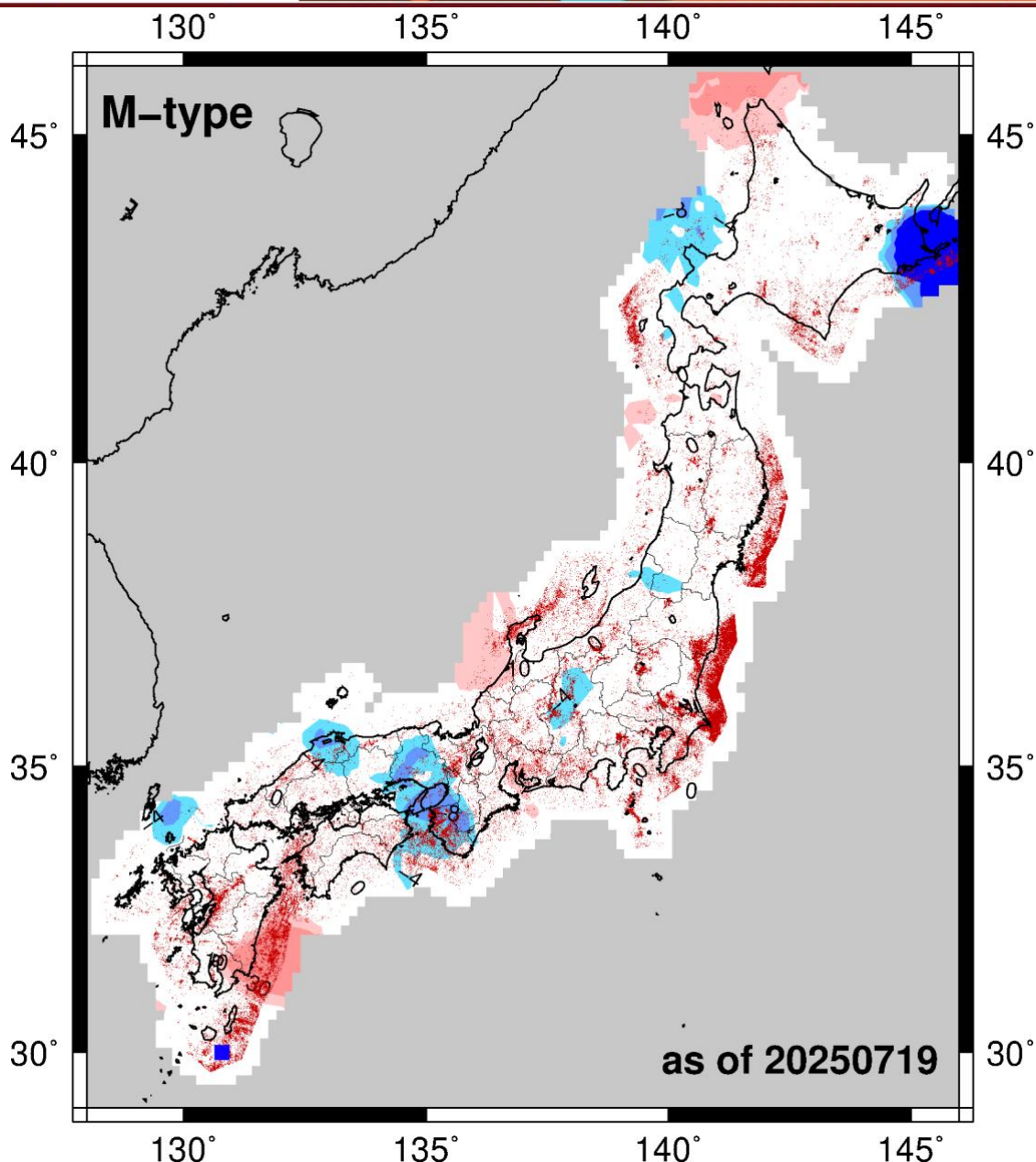
日本列島陸域の地下天気図®

6月9日のニュースレターに続き、日本列島の主に陸域に特化した地下天気図解析です。今週は7月18日時点の M タイプの地下天気図をお示します。

どうやら関西地方、中国地方の状況が変わってきたように思えます。まずは前回6月のニュースレターでお示した地下天気図です(右側)。

右側の地下天気図では、中国地方のみに青い地震活動静穏化領域が広がっていますが、次のページに最新の地下天気図では、地震活動静穏化領域が紀伊半島にも広く広がってきたことがわかるかと思ひます。





上の地下天気図が7月19日時点の最新の地下天気図です。紀伊半島周辺の地震活動静穏化以外にも、北海道西方海域の静穏化が目立つようになりました。

また先週号でもお知らせしましたが、東北沖のアウトーライズ地域も地震発生の可能性が高くなっている地域と考えています。



DuMA ダッシュボード

7月21日時点のダッシュボードです。今回の改訂で、これまで掲載していた紀伊水道沖合の地震活動活発化異常(U)の異常を削除しました。活発化は解消したと考えています。
新たな地震活動静穏化異常として(Hh)を(Bb)から独立させ追加しました。

更新日

2025.7.21

地下天気図® 解析	地域	警戒度 (異常の確度)	現状	静穏化・活発化期間		予測有効期間 関連情報	備 考
				いつ頃から	いつ頃まで		
静穏化異常	北海道根室・釧路 沖 (Gg)	Low	静穏化異常の中心は釧路 沖の海域と考えられる 発生してもM6程度か	2024年11月	継続中		2025年4月21日の北海道の解 析では異常が見られない事か ら精度をLowとした
静穏化異常	宮城沖を中心とす るアウターライズ 地域 (R)	Medium	日本海溝の東側の地域で 静穏化が継続中 静穏化の中心が南下して きた	2020年9月	静穏化概ね 終了と判断	2025年中	現在、静穏化の中心は青森沖に 北上している
静穏化異常	中部地方陸域 (X)	Low	中部地方の内陸で地震活 動静穏化を確認	2023年10月	終了	2025年8月迄	複数のパラメータで静穏化が確 認されている。場所は山梨県・ 長野県およびその周辺
静穏化異常	中国地方 (Bb)	High	岡山県を中心とする地域 で静穏化を確認 <u>近畿地方に静穏化が拡大 か</u>	2024年3月	継続中	静穏化がかなり 解消してきた	異常の空間的な形状がはつきり してきた事とMタイプ、Lタイ プいずれでも静穏化を確認
静穏化異常	九州北部 (Y)	Medium	福岡県を中心に地震活動 静穏化を確認、現在静穏 化の中心が西側へ移動	2023年10月	継続中		この地域には警固断層が位置し ている。静穏化面積が小さいの で、M7を超える可能性は低い
静穏化異常	兵庫・大阪を含む 紀伊半島 (Hh)	Medium	今回追加した静穏化の異 常、MタイプだけでなくL タイプでも確認される	2025年6月	開始		今後の推移に注視。(Bb)から 独立した異常とした
活発化異常	能登半島周辺 (S)	High	2024年1月1日、令和6年能 登半島地震が発生！能登半 島の東側（佐渡島側）も西 側も歪の蓄積がさらに進行 している	2021年9月	継続中		11月26日に能登半島西方で M6.4の地震が発生。今後は能登 半島の東側（佐渡島近傍）での 誘発地震の発生が危惧される
活発化異常	小笠原諸島周辺 (W)	Medium	2023年10月初旬より、鳥島 西方で活発な地震活動開 始。10月には津波注意報が 2度発令された	2022年10月	継続中		西之島の噴火や硫黄島の噴火な ど、この海域では火山活動が活 発化している
活発化異常	日向灘 (Ff)	High	2024年4月に豊後水道で M6.6の地震が発生したが、 この活発化は宮崎沖が中心	2024年2月	継続中		8月8日、臨時情報発表の元と なったM7.1の地震が発生 さらに2025年1月13日にもM6.9 が発生
別種の異常	房総半島沖 (Aa)	High	過去の地震活動解析から房 総半島沖で被害地震発生の 可能性大	2025年末まで		過去の地震発生状 況を考慮し、予測 期間を2025年末ま でとした	房総半島沖では1912年、1950 年、1987年とM6.5前後の地震 が発生しており、スロースリッ プと関連している可能性大